

大阪市立大学大学院 創造都市研究科 都市情報学専攻修士課程



情報システム創成研究分野

情報システムの構築に必要な広範な知識と実践的なシステム開発能力を有し、次世代の情報化社会に適合したシステムの創造をめざす人材を養成します。

履修場所

- 平日昼間：主に杉本キャンパス（大阪市住吉区杉本）
- 土曜日：主に梅田サテライト（大阪駅前第2ビル6階）

16 **12**/**fri**
16 **シンポジウム**
／梅田サテライト 18:30～

16 **10**/**wed** **11**/**sat** **11**/**sat**
26 **12** **26** **入試説明会**
／梅田サテライト 10/26 18:30～
11/12, 11/26 15:30～

創造都市研究科 修士課程 / 冬季募集 平成29(2017)年度入学者

17 **2**/**fri**
17 **筆答・口述試験** / 特別選抜
口述試験 / 社会人一般選抜 試験は17日(金)または18日(土)を予定

出願期間

2017年1月4日(水)～1月10日(火)
1月10日(火) 17時必着

特別選抜

新卒者および社会人経験3年未満の方を対象とした入試

筆答試験（小論文）：
当研究分野に関連するテーマについて、論文試験を行います。
口述試験：提出された「研究計画書」「実務実績書または研究報告書等」「参考資料（提出は任意）」の内容を中心に行います。

選抜試験

日 時：2017年2月17日(金)または18日(土)
9:00～18:00

選抜方法：左記を参照

試験会場：大阪市立大学大学院創造都市研究科
梅田サテライト

(大阪市北区梅田1丁目2番2-600号 大阪駅前第2ビル6階)

合格発表：2017年3月1日(月) 17:00

大阪市立大学大学院創造都市研究科
梅田サテライト

社会人一般選抜

社会における実務経験を概ね3年以上有した方を対象とした入試

口述試験：提出された「研究計画書」「実務実績書」「参考資料（提出は任意）」の内容を中心に行います。

見学・相談ご希望の方はご連絡下さい。
お問い合わせは sousei-info@sousei.gsc.osaka-cu.ac.jp まで。

問い合わせ先 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 都市情報学専攻 情報システム創成研究分野
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 TEL：06-6605-3383 FAX：06-6690-2736
<http://www.sousei.gsc.osaka-cu.ac.jp/>

情報システム創成研究分野

●養成目的

情報システムの構築に必要な広範な知識と実践的なシステム開発能力を有し、次世代の情報化社会に適合したシステムの創造をめざす人材を養成する。

●対象となる学生像

情報システムに関する基礎知識を有し、既存の枠にとらわれない新しい情報システムの創造に熱意を持つ社会人および学生。

●主な研究対象

- (1) コンピュータ、インターネット技術を活用した、新しい情報基盤システムの提案・設計・構築
- (2) 情報検索、人工知能、地理情報システム等を土台とした新しい応用システムの提案・企画・開発
- (3) ユーザインタフェース、情報利用行動、情報教育、e-learning、社会情報システム等

教員紹介

安倍 広多 教授

(オーバーレイネットワーク論など)

大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程修了・博士(工学)。日本電信電話(株)にてソフトウェア開発業務に従事。その後、大阪市立大学学術情報総合センター助手、講師、創造都市研究科講師、助教授を経て2012年より現職。主たる研究分野は分散システム、P2Pシステム、システムソフトウェアなど。システムの実装を重視した研究を行っている。電気通信普及財団第16回テレコムシステム技術賞奨励賞受賞、情報処理学会2013年度論文賞受賞。

石橋 勇人 教授

(ネットワークシステム構築運用論など)

京都大学大学院工学研究科博士後期課程中退・博士(情報学)。京都大学大型計算機センターを経て、1998年より大阪市立大学学術情報総合センター。2003年大阪市立大学大学院創造都市研究科発足にともなって同研究科に所属し、2007年より現職。この間、キャンパスネットワークや研究教育用計算機システムの設計・運用等に従事。主たる研究分野は、ネットワークの管理・運用やセキュリティ、P2Pシステムなど。電気通信普及財団第16回テレコムシステム技術賞奨励賞受賞。著書に「新インターネットサーバ構築術」他。情報処理学会インターネットと運用技術研究会運営委員。

永田 好克 准教授

(地域情報システム論など)

京都大学大学院工学研究科修士課程修了・修士(工学)。京都大学東南アジア研究センター助手、大阪市立大学学術情報総合センター講師、創造都市研究科講師、助教授を経て現職。地図、航空写真、GPS、歴史史料、現地調査結果、社会経済データなどを空間情報システム上に統合し、地域研究や人文社会科学での応用研究を探索している。主な対象地域は、タイ、ラオス、ミャンマーの農村地域。タイ、ミャンマーでJICA専門家としてGISに関するシステム開発や技術指導に従事。タイ国東北地方の社会考古学空間データベースの作成、公開から始まり、現地調査支援ツールの開発、さらに農村開拓に関する現地調査を継続中。

松浦 敏雄 教授

(システム創成I、IIなど)

大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程中退・博士(工学)。大阪大学基礎工学部情報工学科助手、同大学情報処理センター助教授、大阪市立大学学術情報総合センター教授を経て、現在に至る。初期のインターネットの構築に深く関わり、それ以降、分散システムおよびインターネットの構築・運用技術の研究を続けている。また、コンピュータを利用した情報教育についても興味を持っている。情報処理学会分散システム/インターネット運用技術研究会主査(平成15~17年)、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員(学術分科会)(平成17~18年)、情報処理学会一般情報処理教育委員会委員、情報処理学会フェロー。

村上 晴美 教授

(情報検索システム論など)

京都大学文学部哲学科心理学専攻卒。富士通(株)を経て、英国マンチェスター科学技術大学計算機学修士課程修了。奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了・博士(工学)。大阪市立大学学術情報総合センター講師、助教授、創造都市研究科助教授を経て、2007年教授。主たる研究分野は情報検索、人工知能、ユーザインタフェース。研究テーマ例は、インターネットからの情報抽出・検索・組織化、個人の興味に基づく情報システム、人間の情報利用行動など。企業のシステムエンジニアとして研究開発、商品化に関わってきた経験と、大学で人工知能、認知科学、図書館情報学の研究を行ってきた経験を生かしたい。ARG Webインテリジェンスとインタラクション研究会専門委員。ヒューマンインタフェース学会論文誌編集委員、評議員。